

光州民主化闘争 29 年

「韓国の民主化と光州民主化闘争」 「韓国の民主化と日本」を考える交流集会

1979 年 10 月、長期に渡って独裁を誇っていた韓国の朴政権が崩壊し、これまで強権政治の抑圧の下に置かれていた韓国民衆は、その抑圧を排除しようと民主化への動きを活発化させました。しかし、朴亡き後に当時陸軍少将だった全斗煥は軍事クーデターによって政権を掌握し、強権政治を強化するために、民主化運動への全面弾圧に乗り出しました。韓国南西部の全羅南道・光州市では、1980 年 5 月 18 日～27 日の 10 日間に渡って民主化を求める市民、学生、労働者たちと軍（戒厳令軍）の壮絶な闘いが繰り広げられました。その様子は当時、日本をはじめ海外に広く伝えられました。そしてその中で「自由光州」としてある種のコミューンも生み出されましたが、軍の力でその自由も民主も押し潰されました。

あの光州民主化闘争から 29 年。現在、民主化闘争に立ち上がった人々は、名誉を回復されました。そして、民主化闘争を押し潰すために投入された軍隊に対して市民が最後の抵抗拠点とした「全羅南道庁舎」（日本でいう県庁）を民主化闘争を記念する「文化センター」として残す運動を推進しています。しかし、現在の李政権がこの道庁を取り壊し再開発を進めようとしています。韓国の民主化の原点の一つである旧庁舎は、光州民主化闘争を担った人々の「魂と血」の記憶の場所であり、民主化の象徴でもあります。いま、李政権による反民主的対応が韓国社会で大きな問題となっています。この集会で韓国の民主化を見つめ直します。

また来年は日本による韓国併合 100 年にあたります。この 100 年間、韓国は苦難の道を行ってきました。日本と韓国の歴史をあらためて考えます。

日 時： 2 月 28 日（土）
14：00～17：00

会 場： 韓国 YMCA 9 F

東京都千代田区猿楽町 2-5-5
TEL：03-3233-0611
JR 水道橋駅徒歩 6 分、御茶ノ水駅
徒歩 9 分、地下鉄神保町駅徒歩 7
分

資料代：500 円



●講演

「韓国併合 100 年を前にして—日本と韓国の現代史」

講師：石坂浩一（立教大学准教授）

●上映 「光州民主化闘争の記録」上映

●特別報告

1980 年 5 月 18 日・光州民主化闘争参加者

イ・ゼチュン（全南道庁保存共対委員会・執行委員長）
-1980 年 5.18 当時機動打撃隊 1 組組長（現役軍人身分）
※内乱実行で懲役 12 年宣告（1 年服役後刑執行停止で出所）

キム・キクアン（全南道庁保存共対委員会・幹事）
-1980 年 5.18 当時機動打撃隊 5 組員（当時高 3）
※内乱嫌疑で 6 ヶ月服役後刑執行免除で出所
現在、5.18 拘束負傷者会・理事

キム・コンヒュ（全南道庁保存共対委員会・代弁人）
-1980 年 5.18 当時機動打撃隊 4 組員（当時大 2）
※内乱附和遂行で短期 6 年長期 7 年宣告
現在、5.18 拘束負傷者会・会員

安盛玉（全南道庁保存共対委員会・対外協力局長）
-1980 年 5.18 当時機動打撃隊 2 組員（当時高 2）
※内乱嫌疑で 5 年宣告

現在、5.18 拘束負傷者会・理事

主 催：原水禁関東ブロック / 東京平和運動センター（TEL:03-5443-4110）

協 力：原水爆禁止日本国民会議 / フォーラム平和・人権・環境